

Ⅲ 平成27年度研究発表業績

1 論文・報告書等

豊かな道民生活のための森林機能の高度発揮

森林の公益的機能の発揮のための研究開発

- 1 北海道 2016年3月 平成27年度酸性雨モニタリング(土壌・植生)調査 *平成27年度環境省委託業務報告書 154pp
- 2 佐藤 創 2016年3月 道内に生育する高木性樹種11種の根系の分布形態 北林試研報 53:25~48
- 3 Iwasaki, K., Katsuyama, M., Tani, M 2015年12月 Effects of deep percolation on dissolved inorganic nitrogen exports from forested headwater catchments Journal of Forest Research 21(2): 57~66
- 4 佐藤弘和 2016年3月 寒冷寡雪地域における木質チップのマルチが冬期の地温変化に及ぼす影響 北林試研報 53:7~13
- 5 佐藤弘和、佐藤孝弘 2015年12月 遊休農地化した水田に侵入した樹木と土の様子 光珠内季報 177:1~4
- 6 菅野正人、明石信廣、雲野 明 2016年3月 ドローンによる保残伐実験区の撮影 グリーントピックス 52:2~3
- 7 佐藤 創、鳥田宏行、真坂一彦、阿部友幸、岩崎健太、野口宏典、田中規夫 2016年3月 海岸防災林の津波減衰機能を発揮させる林帯整備・管理方法の開発 平成25~27年度重点研究報告書 69pp
- 8 田中規夫、庭田侑、佐藤 創、鳥田宏行、野口宏典 2015年11月 樹形による破断・転倒現象の相違を考慮した海岸林管理に資する津波計算法の構築 土木学会論文集B2(海岸工学) 71,2: I_307~I_312
- 9 上野順也、齋藤健一、布田哲朗、佐藤 創、渡邊康玄 2016年3月 砂州の形成に着目した小規模出水時における流木の発生・再移動・堆積に関する現地調査 土木学会論文集B1(水工学) 72,4: I_295~I_300
- 10 佐藤 創、鳥田宏行 2015年9月 海岸防災林が津波の勢いを弱める効果を明らかにしました グリーントピックス 51:2~3
- 11 佐藤 創、阿部友幸、南野一博 2015年9月 河川流木の移動パターンに基づいた流木流出量の予測 砂防学会誌 68,3: 31~38
- 12 岩崎健太、鳥田宏行、佐藤弘和、阿部友幸、福地 稔、和田英雄、小野純一、藤瀬万里絵 2016年2月 防風林がトウモロコシの初期成長に及ぼす影響—新ひだか町での事例— 北方森林研究 64: 87~90
- 13 真坂一彦、阿部友幸、鳥田宏行、岩崎健太 2015年6月 北海道胆振・日高沿岸部において2013年春に発生したクロマツ樹冠赤変の発生状況とその原因 海岸林学会誌 14: 1~6
- 14 真坂一彦、佐藤 創、鳥田宏行、阿部友幸、岩崎健太、今 博計、明石信廣 2015年12月 高密度植栽されたカシワ海岸林に対する除伐の効果—釧路市音別町における事例— 海岸林学会誌 14: 35~40
- 15 真坂一彦 2015年9月 海岸侵食による海岸林の被災 光珠内季報 176: 1~4
- 16 棚橋生子 2016年3月 調査実施による企業の森づくり活動支援を行いました グリーントピックス 52: 4
- 17 棚橋生子 2015年9月 森をつくる人づくり~Fの森のものがたり~ コープ未来の森づくり基金レポート モリイク 10: 25
- 18 佐藤孝弘 棚橋生子 2015年12月 森林公園の利用者数データの活用方法 光珠内季報 177: 5~9

生物多様性に配慮した豊かな森林を保全・維持するための研究開発

- 19 新田紀敏 2016年3月 美唄市光珠内(北海道空知地方)の森林植物相 北林試研報 53: 49~66
- 20 明石信廣、日野貴文、安藤正規、飯島勇人 2015年5月 森林におけるシカ問題の解決に向けて—被害・影響の把握から被害対策、個体数管理まで— 森林技術 878: 30~31
- 21 安藤正規、飯島勇人、明石信廣 2015年6月 ニホンジカの採食圧に関する植生への影響とその評価 哺乳類科学 55: 70~72
- 22 Akashi, N., Unno, A. & Terazawa, K. 2015年8月 Significance of woody browse preferences in evaluating the impact of sika deer browsing on tree seedlings. Journal of Forest Research 20: 396~402
- 23 明石信廣 2015年8月 北海道の森林におけるシカの影響—シカの生息密度の変化と森林の反応 シカの脅威と森の未来—シカ柵による植生保全の有効性と限界(前迫ゆり・高槻成紀編) 文一総合出版 東京 59~66

- 24 明石信廣 2015年9月 北海道の森林におけるエゾシカの影響と個体数管理 日本の科学者 50 : 468~473
- 25 小南雅誉、山本厚志、明石信廣 2015年9月 森林内におけるエゾシカの効率的捕獲と有効活用—平成24年度道有林エゾシカ捕獲体制構築モデル事業— 森林保護 339 : 17~21
- 26 明石信廣 2015年9月 保残伐施業の実証実験～実験区の設定がすすんでいます～ グリーントピックス 51 : 1
- 27 明石信廣 2015年9月 天然林におけるエゾシカの影響を簡易に評価する 光珠内季報 176 : 5~8
- 28 明石信廣 2015年12月 UNGFOR2015森林の更新と造林における有蹄類の影響に関する国際会議に参加して IUFRO-J News 116 : 4~7_27_明石信廣 2015年9月 天然林におけるエゾシカの影響を簡易に評価する 光珠内季報 176 : 5~8
- 29 明石信廣 2016年1月 木材生産と生物多様性保全の両立を目指した保残伐施業 山づくり 481 : 6~7
- 30 北海道立総合研究機構、酪農学園大学 2016年3月 重点研究 森林管理と連携したエゾシカの個体数管理手法に関する研究 平成27年度(2015年度)研究報告書 70pp
- 31 雲野 明、山浦悠一 2016年2月 保残伐施業(REFRESH) : 第1セット伐採前後の鳥類相の比較 北方森林研究 64 : 19~22
- 32 南野一博 2016年2月 オミット式カフェテリア法によるエゾシカの嗜好性試験 北方森林研究 64 : 23~25
- 33 Nakata, K., Saitoh, T., Iwasa, M. A. & Ishibashi, Y. 2015年7月 *Myodes rufocanus* (Sundevall, 1846) The Wild Mammals of Japan. Second edition. (Ohdachi, S., Ishibashi, Y., Iwasa, M. A., Fukui, D. & Saitoh, T. eds.) Shoukadoh Book Sellers, Kyoto 150~153
- 34 Nakata, K. & Iwasa, M. A. 2015年7月 *Myodes rex* (Imaizumi, 1971) The Wild Mammals of Japan. Second edition. (Ohdachi, S., Ishibashi, Y., Iwasa, M. A., Fukui, D. & Saitoh, T. eds.) Shoukadoh Book Sellers, Kyoto 154~155
- 35 Nakata, K. & Iwasa, M. A. 2015年7月 *Myodes rutilus* (Pallas, 1779) The Wild Mammals of Japan. Second edition. (Ohdachi, S., Ishibashi, Y., Iwasa, M. A., Fukui, D. & Saitoh, T. eds.) Shoukadoh Book Sellers, Kyoto 156~157
- 36 Nakata, K. & Iwasa, M. A. 2015年7月 *Apodemus peninsulae* (Thomas, 1907) The Wild Mammals of Japan. Second edition. (Ohdachi, S., Ishibashi, Y., Iwasa, M. A., Fukui, D. & Saitoh, T. eds.) Shoukadoh Book Sellers, Kyoto 173~174
- 37 Nakata, K., Saitoh, T. & Iwasa, M. A. 2015年7月 *Apodemus speciosus* (Temminck, 1844) The Wild Mammals of Japan. Second edition. (Ohdachi, S., Ishibashi, Y., Iwasa, M. A., Fukui, D. & Saitoh, T. eds.) Shoukadoh Book Sellers, Kyoto 175~177
- 38 Nakata, K., Saitoh, T. & Iwasa, M. A. 2015年7月 *Apodemus argenteus* (Temminck, 1844) The Wild Mammals of Japan. Second edition. (Ohdachi, S., Ishibashi, Y., Iwasa, M. A., Fukui, D. & Saitoh, T. eds.) Shoukadoh Book Sellers, Kyoto 178~179
- 39 Iwasa, M. A. & Nakata, K. 2015年9月 Conventionally and differentially stained karyotypes of the dark red-backed vole, *Myodes rex*. Mammal Study 40 : 181~185
- 40 Tomiko Ito and Yu Nagasaka 2015年10月 The occurrence of slender leaf pieces on the larval cases of *Brachycentrus Curtis*, 1834 (Trichoptera: Brachycentridae) No Access The Pan-Pacific Entomologist 91 (3):p6
- 41 Masaka K, Torita H, Kon H, Fukuchi M 2015年8月 Seasonality of sprouting in the exotic tree *Robinia pseudoacacia* L. in Hokkaido, northern Japan Journal of Forest Research 20 : 386~395
- 42 真坂一彦 2016年3月 ニセアカシアの萌芽再生能力の春夏秋冬 光珠内季報 178 : 6~9
- 43 倉本恵生、飯田滋生、今 博計、佐藤弘和、橋本 徹、佐々木尚三 2016年2月 機械搬出を行った間伐前後におけるトドマツ人工林の林床植生発達と樹木の更新 北方森林研究 64 : 57~60
- 44 対馬俊之 2015年5月 持続可能な森林管理のための保残伐施業—日本への導入に向けて— 森林技術 878 : 16~17
- 45 Johns, R. C., Tobita, H., Hara, H. & Ozaki, K. 2015年6月 Adaptive advantages of dietary mixing different-aged foliage within conifers for a generalist defoliator. Ecological Research 30 : 793~802

- 46 Shinohara, A. & Hara, H. 2015年8月 Taxonomic notes and new distribution and host plants records for sawflies and woodwasps (Hymenoptera, Symphyta) of Japan. Bulletin of the National Museum of Nature and Science, Series A 41(3) : 171~184
- 47 Shinohara, A. & Hara, H. 2015年8月 Host plants of Empria sawflies (Hymenoptera, Tenthredinidae) in Japan include Rhododendron (Ericaceae). Zootaxa 4007(4) : 143~148
- 48 Hara, H. & Smith, D. R. 2015年8月 Japanese species of the sawfly genus Nesodiprion (Hymenoptera, Diprionidae). Zootaxa 4007(4) : 481~508
- 49 Hara, H., Ibuki, S. I. & Naito, T. 2015年11月 Larva and life history of Beleses satonis (Hymenoptera, Tenthredinidae) infesting hardy kiwi Japanese Journal of Systematic Entomology 21(2) : 287~290
- 50 原 秀穂 2016年3月 研究資料、北海道における膜翅目ハバチ亜目の樹木害虫II：マツハバチ科 北海道林業試験場研究報告 (53) : 15~23
- 51 中田圭亮、明石信廣、雲野 明 2015年6月 一般民有林におけるエゾヤチネズミの捕獲状況と被害状況：2013・2014年を中心に 森林保護 338 : 13~15
- 52 中田圭亮 2015年6月 家ネズミのワナとワナの餌 ねずみ情報 71 : 15
- 53 中田圭亮 2015年8月 野ネズミの予察調査と防除の手引(第3版) (北海道森林保護事業推進協議会監修) 北海道森林整備公社 札幌 77pp
- 54 中田圭亮、明石信廣、雲野 明 2016年3月 2015年におけるエゾヤチネズミの発生状況 森林保護 341 : 1~2
- 55 Onodera, K. & Tokuda, S. 2015年4月 Do larger snags stand longer? - snag longevity in mixed conifer-hardwood forests in Hokkaido. Japan Annals of Forest Science 72 : 621~629
- 56 峯岸啓之、弘中 豊、尾崎研一、小野寺賢介、大橋章博、中牟田潔 2015年11月 日本産マイマイガ(チョウ目：ドクガ科)の性フェロモントラップ：ルアーの担持量、トラップ形状と誘殺数の関係 日本応用動物昆虫学会 59 : 191~194
- 57 小野寺賢介 2015年7月 森林昆虫研究最近の動向—第126回日本森林学会大会より— 森林防疫 709 : 10~14

生活環境の向上のためのみどり資源の活用

身近なみどり資源の活用のための研究開発

- 58 脇田陽一、佐藤孝弘 2016年3月 北海道産桜における芳香成分等の新たな利用方法の開発 公立林業試験研究機関 研究成果選集 13 : 3~4
- 59 清水一 2015年12月 北海道における海浜植物の増殖と導入事例 景観生態学 20 : 83~100

森林資源の充実と持続的な森林経営による林業の振興

資源管理の高度化のための研究開発

- 60 八坂通泰、津田高明、寺田文子 2016年2月 道南スギにおける径級別丸太供給可能量の将来予測 受託研究報告書 総頁33
- 61 八坂通泰 2015年5月 ブナの豊凶が何かおかしい?—全国のブナ林からの報告— 森林技術 878 : 24~25
- 62 来田和人 2015年6月 人工林の壮大な野外実験 森林科学 74 : 42~43
- 63 徳田佐和子 2015年12月 北海道特産、トドマツ林を育む ほっかいどうの希望をかたちに! 道総研第1期成果集 130~131
- 64 徳田佐和子、滝谷美香、津田高明、八坂通泰 2016年2月 トドマツ人工林資源の現状と展望 北方森林研究 64 : 1~4
- 65 山田健四 2015年9月 北海道カラマツ細り表を修正しました グリーントピックス 51 : p4
- 66 中川昌彦、大野泰之、山田健四、八坂通泰 2016年2月 油圧ショベルによる表土除去の生産性と経済性の検討 北方森林研究 64 : 81~82
- 67 中川昌彦、蓮井聡、津田高明、石濱宣夫、滝谷美香、八坂通泰 2016年3月 カラマツの天然更新施業が可能な伐開幅の推定 北林試研報 53 : 1~6
- 68 中川昌彦 2015年10月 パッチワーク状混植で混交林をつくる 森林技術 883 : 8~11

- 69 酒井明香・栃木幸広 2016年1月 木材生産とバイオマス集荷の効率化を目指したハーベスタ・グラップルシステムの生産性—北海道 千歳林業(株)の取組み— 森林利用学会誌 31:13~20
- 70 酒井明香 2016年3月 木質バイオマス利用の現状と課題 北海道自然エネルギー研究 10:19~26
- 71 渡辺一郎、木幡靖夫、佐々木尚三 2016年1月 森林作業道を活用した欧州製ホイール式ハーベスタとフォワーダによる作業システムの生産性 森林利用学会誌 31(1)21~25
- 72 渡辺一郎 2015年7月 北海道における架線集材の可能性 山づくり 478, 4~5
- 73 徳田佐和子、滝谷美香、津田高明、八坂通泰 2016年2月 北海道のトドマツ人工林資源の現状と今後の課題 北方森林研究 64:1~4
- 74 津田高明 2016年3月 北海道における人工林資源の供給可能量の推計 公立試験研究機関研究成果選集 13:1~2
- 75 津田高明 2015年5月 「住まい」を通じた人工林資源の循環的利用の可能性—建築用材による「地材地消」の仕組み作り— 森林技術 878:22~23
- 76 対馬俊之 2016年3月 保残伐施業におけるフォワーダ集材作業の実証的研究 平成26年度一般社団法人林業機械化協会助成研究報告書 14pp
- 林業経営の持続的な発展のための研究開発**
- 77_Kon,H. Saito,H. 2015年9月 Test of the temperature difference model predicting masting behavior Canadian Journal of Forest Research 45(12):1835~1844
- 78_今 博計、来田和人 2015年10月 ポット苗を用いたカラマツ類の着花誘導試験 森林遺伝育種 4(4):153~157
- 79_Ishizuka Wataru, Ono Kiyomi, Hara Toshihiko, Goto Susumu 2015年10月 Influence of low- and high-elevation plant genomes on the regulation of autumn cold acclimation in Abies sachalinensis Frontiers in Plant Science 6:890(1~10)
- 80_石塚 航、今 博計、来田和人 2015年9月 根釧地域におけるトドマツ第二世代精英樹の選抜 光珠内季報 176:9~14
- 81_Ishizuka Wataru 2015年9月 Selection for 2nd generation plus tree in Abies sachalinensis in eastern Hokkaido, Japan Zenodo doi:10.5281/zenodo.19394
- 82_大谷雅人、田村明、矢野慶介、西岡直樹、上田雄介、坂本庄生、植田守、佐藤亜樹彦、湯浅真、井上 晃、来田和人、今 博計、黒丸 亮 2016年3月 北海道育種基本区における第2世代精英樹候補木の選抜—平成26年度の実施結果— 森林総合研究所林木育種センター年報 平成26年版:121~134
- 83_来田和人、今 博計 2016年3月 カラマツ種子を処理せずにコンテナ播くとどうなるか 光珠内季報 178:1~5
- 84_来田和人、内山和子、市村康弘、森口嘉成、津村義彦、黒丸 亮 2015年9月 DNAマーカーを利用してグイマツ×カラマツ雑種苗木の表現型識別精度を高める 北海道の林木育種 58(1):28~32
- 85_来田和人(分担執筆) 2016年3月 コンテナ苗を活用した主伐・再造林技術の新たな展開—実証研究の現場から— パンフレット(発行:森林総合研究所) 29pp
- 86_黒丸 亮 2015年9月 北海道の林木育種の今—本格的な人工林資源の更新時期を迎えて— 北海道の林木育種 58(1):1~6
- 87_黒丸 亮 2015年10月 カラマツ林業と今後の育種の展望 森林遺伝育種 4:167~172
- 88_今 博計 2016年3月 スギ雄花・種子数の年次変動予測—気温の較差が豊凶現象を引き起こす— グリーンピックス 52:1
- 89_今 博計 2016年3月 地域林業の活性化に向けた特定母樹クリーンラーチ(グイマツ雑種F1)増殖促進の取り組み 森林・林業技術シンポジウム発表集 49:8~12

注1 雑誌名等の省略 北林試研報:北海道林業試験場研究報告

注2 *は公表されていないもの

2 学会における口頭・ポスター発表等

豊かな道民生活のための森林機能の高度発揮

森林の公益的機能の発揮のための研究開発

- 90 山田健四、寺澤和彦、阪田匡司、石塚成宏 2015年11月 湿地林の高茎草本からのメタンフラックス観測のための大型密閉式チャンバの試作 第64回北方森林学会大会
- 91 山田健四、寺澤和彦、阪田匡司、石塚成宏、大野泰之 2016年3月 北海道中部の湿地林における地表面と下層植生からのメタンフラックス 第127回日本森林学会大会
- 92 寺澤和彦、山田健四、阪田匡司、中村隆俊、石塚成宏 2016年3月 北海道東部の泥炭湿地林における樹幹と土壌からのメタン放出量の変動 第127回日本森林学会大会
- 93 長坂晶子、長坂 有 2016年3月 流域スケールの環境情報を用いて沿岸域への落葉流出量を予測する 第127回日本森林学会大会
- 94 佐藤冬樹、笹賀一郎、福澤加里部、間宮春大、長坂晶子、長坂 有、堀井勇司、杉本記史 2016年3月 カンラン岩地帯の森林流域より溶出する有機-無機複合体の季節変化 第127回日本森林学会大会
- 95 長坂 有、長坂晶子、石川 靖 2016年3月 トドマツ人工林の保残伐施業試験地(REFRESH)における伐採直後の水質変化 第127回日本森林学会大会
- 96 岩崎健太 2016年3月 花崗岩源流域における洪水流出過程の空間スケーリングに対する基岩地下水の寄与 第127回日本森林学会大会
- 97 Katsuyama, M., Iwasaki, K., Nagano, R., Takaki, K. and Tanaka, Y 2015年7月 Hydrological control of perpetual effects of forest disturbance on streamwater chemistry in a forested catchment 4th International Conference Forests & Water in a Changing Environment
- 98 田中洋太郎、勝山正則、岩崎健太、長野龍平、鷹木香菜、谷 誠 2016年3月 温帯森林流域における降雨流出過程に伴う溶存有機態炭素の質的变化 第127回日本森林学会大会
- 99 菅野正人 2015年4月 衛星画像の3次元解析による風倒被害把握 平成27年北海道森づくり研究成果発表会(森林整備部門)
- 100 菅野正人、佐藤 創、阿部友幸 2016年3月 LANDSAT8衛星による道有林の風倒被害解析と被害把握への活用 日本写真測量学会北海道支部 第34回学術講演会
- 101 津田高明、八坂通泰、大野泰之 2015年11月 カラマツ人工林における原木価格体系と最適伐期の関係性 第64回北方森林学会大会
- 102 寺田文子 2015年4月 衛星画像を用いた人工林成林状況の把握 平成27年北海道森づくり研究成果発表会(森林整備部門)
- 103 佐藤 創、鳥田宏行、真坂一彦、阿部友幸、岩崎健太、田中規夫、野口宏典 2015年4月 樹木の被害を組み込んだ海岸防災林の津波減衰機能のシミュレーション 平成27年北海道森づくり研究成果発表会(森林整備部門)
- 104 佐藤 創、野口宏典、鳥田宏行、真坂一彦 2016年3月 海岸防災林の津波減衰機能および根返り・幹折れ抵抗性に及ぼす間伐の影響 第127回日本森林学会大会
- 105 阿部友幸、岩崎健太、真坂一彦、佐藤弘和、佐藤 創、福地 稔 2016年3月 風倒害リスクを考慮したカラマツ林の施業シナリオ選択 第127回日本森林学会大会
- 106 真坂一彦、岩崎健太、福地 稔、阿部友幸 2015年11月 美唄におけるシラカンバ防風林の衰退現況ーカミキリムシ類による穿孔に注目してー 第64回北方森林学会大会
- 107 真坂一彦、三上千代蔵 2016年3月 北海道江差町の厚沢部川河口域における飛砂害史 第127回日本森林学会大会
- 108 真坂一彦 2015年4月 太平洋戦争後の日本海北部沿岸における砂丘荒廃地の状況と周辺住民の生活環境 平成27年北海道森づくり研究成果発表会(森林整備部門)
- 109 岩崎健太、鳥田宏行、佐藤弘和、阿部友幸、福地 稔、和田英雄、小野純一、藤瀬万里絵 2015年11月 防風林がトウモロコシの初期成長に及ぼす影響ー新ひだか町での事例ー 第64回北方森林学会大会
- 110 岩崎健太、鳥田宏行、佐藤弘和、阿部友幸、福地 稔 2015年12月 防風林がトウモロコシ生育初期における地温に及ぼす影響の推定 日本農業気象学会北海道支部2015年大会

- 111 津田高明、渡辺一郎 2016年3月 林内路網配置を考慮した林地団地化の最適化手法の構築 第127回日本森林学会大会
生物多様性に配慮した豊かな森林を保全・維持するための研究開発
- 112 Akashi, N. 2015年7月 Sika deer impacts on forests and forestry in Japan. Vth International Wildlife Management Congress
- 113 Ono, T., Takafumi, H., Igota, H., Yasoshima, Y., Okuaki, K., Nakatani, Y., Uno, H., Akashi, N., Yoshida, T. 2015年7月 Determining factors for deer culling suitability evaluated by forest GIS and professional hunters. Vth International Wildlife Management Congress
- 114 稲富佳洋、宇野裕之、長雄一、上野真由美、明石信廣 2016年3月 複数の植物指標種を用いたニホンジカの生息密度評価 第63回日本生態学会大会
- 115 宇野裕之、上野真由美、稲富佳洋、長雄一、明石信廣、雲野 明、南野一博 2016年3月 北海道の森林環境におけるライントランセクト法を用いたニホンジカ個体群密度の推定 第63回日本生態学会大会
- 116 明石信廣、大野泰之、新田紀敏 2016年3月 トドマツ人工林における下層植生の皆伐による変化 第63回日本生態学会大会
- 117 明石信廣 2016年3月 広葉樹二次林においてエゾシカの影響が顕在化する初期過程 第127回日本森林学会大会
- 118 Akashi, N. 2015年10月 Sika deer damage to *Abies sachalinensis* plantations in Hokkaido, Japan. IUFRO International Conference "Effects of Ungulate Browsing on Forest Regeneration and Silviculture: Special implications for palatable tree species such as *Abies alba*"
- 119 明石信廣、雲野明、刈馬俊之、渡辺一郎、大野泰之、長坂晶子、長坂 有、山浦悠一、尾崎研一 2016年2月 木材生産と公益的機能の両立を目指した保残伐施業の実証実験 平成27年度北の国・森林づくり技術交流会
- 120 明石信廣、南野一博、雲野 明、宇野裕之、稲富佳洋、上野真由美、長雄一、吉田剛司、小野 司、日野貴文、伊吾田宏正 2015年4月 森林におけるエゾシカ対策—森林管理者がエゾシカを捕獲する時代へ—平成27年北海道森づくり研究成果発表会(森林整備部門)
- 121 明石信廣、南野一博、雲野 明、稲富佳洋、上野真由美、宇野裕之 2015年5月 エゾシカによる森林への影響を評価する 平成27年度環境・地質研究本部調査研究成果発表会
- 122 雲野明、山浦悠一 2015年11月 保残伐施業(REFRESH):第1セット伐採前後の鳥類相の比較 第64回北方森林学会大会
- 123 南野一博 2016年3月 飼料穀物4種に対するエゾシカの嗜好性 第127回日本森林学会大会
- 124 南野一博 2015年11月 オミット式カフェテリア法によるエゾシカの嗜好性試験 第64回北方森林学会大会
- 125 Minamino, K., Shibuta, Y. 2015年7月 Capture of sika deer in Northern Japan using cable restraint devices Vth International Wildlife Management Congress
- 126 佐藤弘和、津田高明、倉本恵生、橋本 徹、飯田滋生 2015年11月 車両走行により締め固められた集材路における土壌物理性の回復 第64回北方森林学会大会
- 127 Nakata, K., Unno, A., Akashi, N. 2015年7月 Spatial and temporal patterns in time series of the gray red-backed vole: Nonstationarity and clustering results Vth International Wildlife Management Congress
- 128 小野寺賢介、徳田佐和子、後藤秀章 2015年9月 北海道のカラマツ林でヤツバキクイムシ類のフェロモンに誘引されたクイムシ 日本昆虫学会第75回大会
- 129 長坂晶子、長坂 有、山田健四 2016年3月 攪乱による底質環境の変化が底生動物群集に与える影響 第63回日本生態学会大会
- 130 山本航平、宮本敏澄、長坂晶子、長坂 有、玉井裕、矢島 崇 2016年3月 山地溪流に生息する水生不完全菌の種構成に及ぼす水質の影響 第127回日本森林学会大会
- 131 長坂晶子、長坂 有 2015年4月 イルムケップ小流域における流水水質と水生昆虫の概要 —保残伐実験・伐採前データを紹介します— 平成27年度北海道森づくり研究成果発表会(森林整備部門)

生活環境の向上のためのみどり資源の活用

身近なみどり資源の活用のための研究開発

- 132 脇田陽一、佐藤孝弘 2015年4月 道産桜の新たな利用価値の探索 平成27年北海道森づくり研究成果発表会(森林整備部門)
- 133 棚橋生子、清水 一 2015年4月 石炭露天掘り跡地の樹木による緑化 平成27年北海道森づくり研究成果発表会(森林整備部門)
- 134 (北大農)中谷一枝、小泉章夫、佐々木義久(林試)鳥田宏行、脇田陽一 2016年3月 緑化木の抗力係数の評価法の検討 第66回日本木材学会大会
- 135 小久保亮、脇田陽一 2015年4月 音を使って樹木の内部欠陥を非破壊で診断する新装置 平成27年北海道森づくり研究成果発表会(森林整備部門)

森林資源の充実と持続的な森林経営による林業の振興

資源管理の高度化のための研究開発

- 136 大野泰之、石濱宣夫、竹内史郎 2015年11月 山火事跡に成立した広葉樹二次林に対する保育間伐の効果 第64回北方森林学会大会
- 137 大野泰之、津田高明、酒井明香 2015年4月 「森林資源の循環利用システム」の構築に向けて 平成27年度北海道森づくり研究成果発表会(森林整備部門)
- 138 竹内史郎、大野泰之、石濱宣夫、津田高明、滝谷美香、八坂通泰、今 博計、石塚 航 2015年11月 アカエゾマツ人工林の成長・生残・形質に及ぼす植栽密度の影響 第64回北方森林学会大会
- 139 竹内史郎、大野泰之、石濱宣夫、津田高明、滝谷美香、八坂通泰、今 博計、石塚 航 2016年3月 アカエゾマツ人工林の成長・生残・形質に及ぼす植栽密度の影響 第127回日本森林学会大会
- 140 大野泰之、津田高明、酒井明香 2015年4月 「森林資源の循環利用システム」の構築に向けて ーカラマツ編ー 平成27年度北海道森づくり研究成果発表会(森林整備部門)
- 141 八坂通泰、滝谷美香 2015年4月 道南スギ人工林収穫予測ソフトの開発について 平成27年度北海道森づくり研究成果発表会(森林整備部門)
- 142 山田健四 2015年4月 相対幹曲線式を用いたカラマツの立木幹材積の計算 ー中島の材積表は大径材に使えるのか?ー 平成27年度北海道森づくり研究成果発表会(森林整備部門)
- 143 寺田文子、鳥田宏行、菅野正人、長坂晶子 2015年11月 道総研林業試験場道南支場に設置したブナ・スギ二段林におけるブナの成長の様子 第64回北方森林学会大会
- 144 中川昌彦、大野泰之、山田健四、八坂通泰 2015年11月 油圧ショベルによる表土除去の生産性と経済性の検討 第64回北方森林学会大会
- 145 渡辺一郎、酒井明香、寺田文子 2016年3月 緩傾斜地における機械地拵えの工期とコストおよびその効果 第127回日本森林学会大会
- 146 石濱宣夫 2016年2月 広葉樹材に見られるピスフレックの特徴と発生実態 平成27年度旭川木青と林産試験場との懇談会
- 147 津田高明 2015年11月 道北地域におけるトドマツ、カラマツの中・長期的な伐採可能量の推定 ー森林資源の循環利用の構築に向けてー 平成27年度技術開発研究成果発表会
- 148 蓮井聡 2015年11月 経済性を根拠とした森林作業道(林業専用道)の整備方法について 平成27年度技術開発研究成果発表会

林業経営の持続的な発展のための研究開発

- 149 今 博計 2016年1月 地域林業の活性化に向けた特定母樹クリーンラーチ(グイマツ雑種F1)増殖促進の取り組み 第49回林業技術シンポジウム
- 150 今 博計、石塚 航、来田和人、黒丸 亮 2016年3月 気象データを利用したカラマツ採種園の適地評価 第127回日本森林学会大会
- 151 田村 明、松下通也、矢野慶介、来田和人、今 博計、石塚 航 2016年3月 樹冠中のカラマツ球果数の簡易推定方法の開発 第127回日本森林学会大会
- 152 石塚 航、今 博計、来田和人、黒丸 亮 2016年3月 系統・環境:トドマツ幼苗のパフォーマンスを変える因子は? 第127回日本森林学会大会

- 153 後藤晋、鐘ヶ江弘美、石塚 航、北村系子、上野真義、久本洋子、永野 惇、岩田洋佳 2016年3月 標高に沿ったトドマツの表現型変異と適応候補遺伝子へのアプローチ 第127回日本森林学会大会
- 154 上野真義、中村幸乃、小林正明、石塚 航、内山憲太郎、津村義彦、矢野健太郎、後藤 晋 2016年3月 トドマツのトランスクリプトーム解析 第127回日本森林学会大会
- 155 中西敦史、岡田桃子、石塚航、北村系子、練春 練、後藤 晋 2016年3月 エゾマツ集団における空間遺伝的構造と遺伝子散布 第127回日本森林学会大会
- 156 田村明、松下通也、矢野慶介、来田和人、今博 計、石塚 航 2015年12月 カラマツ属の樹冠に着生している球果数の簡易推定方法の開発 第4回森林遺伝育種学会大会
- 157 矢野慶介、坂本庄生、田村 明、松下通也、来田和人、今 博計、石塚 航 2015年11月 定性的な着果指数評価と個体サイズから推定したトドマツの着果量 第64回北方森林学会大会
- 158 来田和人、内山和子、今 博計、黒丸 亮 2015年11月 温暖化がグイマツ×カラマツ雑種家系「クリーンラーチ」の直径成長に及ぼす影響 第4回森林遺伝育種学会大会
- 159 来田和人、今博計、石塚 航 2016年3月 グイマツ雑種F1優良家系「クリーンラーチ」の挿し木コンテナ育苗技術の開発 第127回日本森林学会大会
- 160 来田和人、今 博計 2015年4月 カラマツとクリーンラーチのコンテナ苗木生産方法の開発 平成27年度北海道森づくり研究成果発表会（森林整備部門）

森林バイオマスの有効活用の推進

森林バイオマスの総合利用の推進のための研究開発

- 161 酒井明香、古俣寛隆、八坂通泰、津田高明、寺田文子、渡辺一郎 2016年3月 北海道における発電所向け未利用材の供給ポテンシャルに関する考察 第127回日本森林学会大会